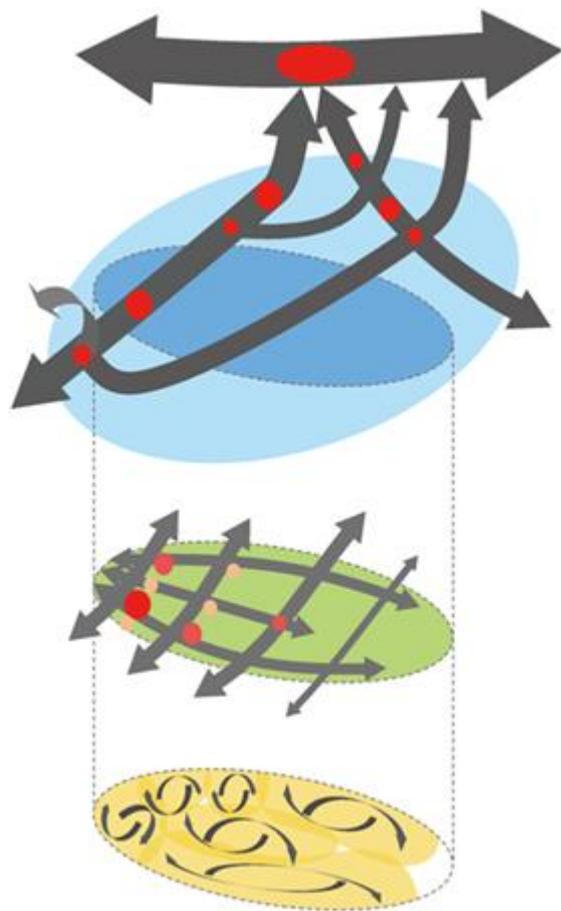


将来交通の実現に向けた交通施策の 方向性について

1. 活動と移動の階層構造による方向性

○ 活動と移動の階層構造別に整理し、各階層の基本方針を設定する。基本方針を踏まえ、階層ごとの施策の方向性を定める。



広域圏

基本方針：南北大阪を繋ぐ
広域連携軸の強化

活動イメージ：
大阪都市圏レベルの広域的な活動
(南大阪・泉州圏の地域核として
行われる活動)

施策イメージ：
・ 広域幹線の整備
・ 広域ネットワークの形成 等

近隣圏

基本方針：都市部・山間部・近隣市町を結ぶ
交流ネットワークの創出

活動イメージ：
近隣都市圏レベルの活動
(市域を跨ぎ、近隣圏の拠点として
行われる活動)

施策イメージ：
・ 幹線道路の整備
・ 路線バスの再編
・ 交通結節点の整備 等

生活圏

基本方針：地域内で回遊性を高める
交通ネットワークの形成

活動イメージ：
日常生活圏レベルの活動
(岸和田市内の小さな拠点で行われる活動)

施策イメージ：
・ 補助幹線道路の整備
・ ローズバスの再編
・ 地域での移動手手段検討 等

2. 広域圏の方向性

- 広域圏では、大阪都市圏レベルの広域的な活動の基盤となる交通として、交流と連携を高める交通ネットワークづくりが求められています。広域的な観点から、南大阪・泉州圏の地域核として岸和田市を位置づけ、商業・観光機能が集積する都市拠点の立地条件を高めるため、自動車専用道路や鉄道と連携した広域交通軸としての機能強化を図ります。

広域圏：南北大阪を繋ぐ広域連携軸の強化

大阪都市圏レベルの広域的な活動
(南大阪・泉州圏の地域核として行われる活動)
【活動イメージ】

- ・大阪市内、堺市内の会社・学校への通勤・通学
- ・堺市内、大阪市内から岸和田市内の会社への通勤・通学
- ・大阪市内、堺市内への得意先への営業
- ・大阪市内、堺市内への買物
- ・全国から岸和田市内の主要観光スポットへの来訪 等



広域連携軸の強化で、産業・商業機能がより一層充実する交通



広域的な購買行動の拡大、広域的な観光・交流人口の増加に寄与する交通

施策の方向性：

南大阪・泉州圏をリードし、活力の拠点として圏域の発展をけん引するため、鉄道・自動車の交通ネットワークの機能強化を図り、広域拠点へのアクセス性の向上、都市間の連携強化、観光地へのアクセス性の向上を図る。

具体的には、鉄道と幹線道路の立体交差化による円滑な交通ネットワークの形成と安全性の確保、都市計画道路の推進による広域道路ネットワークの形成を進める。

施策イメージ：

- ・広域幹線の整備
- ・広域ネットワークの形成 等

2. 近隣圏の方向性

○近隣圏では、市域内及び隣接市町との交流・連携を高めていくために、広域的に連携し、市域の各拠点と山間部をつなぐ交通ネットワークを充実していきます。また、ネットワークの形成には多様な交通の結節点となる、都市拠点・地域拠点・生活拠点の整備が必要です。

隣接市町との連携においては、東西の交通ネットワークの充実と交通結節点の整備を行い、併せてバリアフリー化についても取り組んでいきます。

近隣圏：都市部・山間部・近隣市町を
結ぶ交流ネットワークの創出

近隣都市圏レベルの活動

(市域を跨ぎ、近隣圏の拠点として
行われる活動)

【活動イメージ】

- ・隣接市町の会社、学校への通勤・通学
- ・隣接市町から岸和田市内の会社・学校への通勤・通学
- ・隣接市町の得意先への営業
- ・隣接市町の大規模商業施設への買物
- ・岸和田市内及び隣接市町の観光スポットへの周遊 等



市域内や隣接市町の近隣圏のアクセス性向上による賑わいを創出する交通



近隣圏の大規模商業施設への買物や観光スポットへの周遊等により市民生活が充実する交通

施策の方向性：

市域内、隣接市町との連携強化を図るための交通ネットワークを充実する。

【公共交通と連携したまちづくり】

交通結節点として、鉄道駅を中心に、誰もが移動しやすい環境整備を推進する。

鉄道駅・公共施設・集客施設等を結ぶなど、バスサービスを高める効果的な運行計画の再編・整備を進める。

【安心して暮らせるまちづくり】

幹線道路の適正な配置により、住宅地内の通過交通を減少させ、安全な住環境の維持・形成を図る。

自転車・歩行者が安全・安心して移動できる広域的なネットワークを構築する。自転車や歩行空間に関する検討や、歩行者と自転車との交錯をふせぐための啓発やマナーアップを図る。

【交通を軸とした交流と賑わいのあるまちづくり】

市の玄関口となる駅周辺においては、案内や情報提供の充実、バスやタクシー等との乗継利便性を向上する。

施策イメージ：

- ・ 幹線道路の整備
- ・ 路線バスの再編
- ・ 交通結節点の整備 等

2. 生活圏の方向性

○生活圏では、地域特性に応じて、関係機関や地域と協力し交通に関して取組む環境づくりを進めます。住みたい、住み続けたいと思えるまちをめざして、暮らしを支える安全で快適な交通ネットワークの形成を進めていきます。

生活圏：地域内の回遊性を高める
交通ネットワークの形成
日常生活圏レベルの活動

(岸和田市内の小さな拠点で行われる活動)

【活動イメージ】

- ・岸和田市内の会社・学校への通勤・通学
- ・保育施設への送り迎え
- ・近所のスーパーでの日常的な買物
- ・かかりつけの病院への通院
- ・地区公園への散歩 等



誰もが気軽に安全・安心に移動できる交通ネットワークの形成



地域内の回遊性を高めることで、多世代交流の促進や、市民の健康増進につながる交通

施策の方向性：

市民が日常生活をおくる上で、いつまでも持続的に安全に活動できるまちをめざした交通ネットワークを形成する。

【公共交通と連携したまちづくり】

日常生活を支える商業・医療・サービス機能や居住機能が集積する鉄道駅周辺では、歩いて暮らせる市街地環境を高める。

鉄道駅から徒歩圏外にある地域では、路線バスとコミュニティバスの連携により、交通の利便性を高める。

既存の公共交通サービスが十分でない地域では、地域主導による地域公共交通の導入に向けた検討を進める。

【安心して暮らせるまちづくり】

公共施設周辺や通学路となっている道路を中心に、歩道の設置や段差解消を図ることで安心して快適に移動できるまちづくりを進める。

【交通を軸とした交流と賑わいのあるまちづくり】

公共交通の利用促進や、日常生活の助け合いのしくみ構築に向け、行政・地域・関係事業者が連携して、ソフト面からもまちづくりや交通について考え、協働で取組を進めるしくみづくりや取組を推進し、市民の健康増進や交流促進につなげる。

施策イメージ：

- ・補助幹線道路の整備
- ・生活道路の整備
- ・ローズバスの再編
- ・地域での移動手手段検討 等